

科目コード	B1931	開講学期	通年	単位数	4	一般聴講	可	LA聴講	可	
授業科目名	経営と経済・社会									
Course Title	Management and Economics & Sociology									
担当教員	杉原 弘恭・その他講師						責任教員	杉原 弘恭		
曜限:日程	水3									
対象学年	1年	必修	2年	—	3年	—	4年	—	重複履修	—

### 授業のねらいと到達目標

社会科学（経営学・経済学・社会学）の基礎を学ぶことを通じて、理論的な思考法を身に着けることを狙いとします。現実に行っている経済・環境・社会問題を表面現象的にとらえるのではなく、そのメカニズムを理論的に理解でき、問題解決を考えられることを目標とします。

### 授業計画・春期

自分を含めたRealな世界をどのように理解し、その世界とどのように接し、その世界を変えて行くのか？それらに必要なフレームワークを学んでいきます。

1. ミクロ・マクロ、経営・経済・社会など基礎的なキーワードを学ぶ。
2. 視座を個人・企業に置いて、経済・社会環境との関わり合いを学び、ビジネスを考えられるようになる（＝経営学的）。経営とは？ 財務諸表の基礎、ライフプランと統計の基礎など
3. 経済環境である家計と企業・政府・金融機関の関わり合い、市場のメカニズムを学び、何がおきているのか、おころうとしているのかを予測できるようになる（経済学的）。

### 授業計画・秋期

4. 環境問題や東京一極集中など、私たちが暮らす日本社会には多くの問題が存在するが、このような問題に対して私たちはどのように向き合うべきなのかを考察する。  
具体的には、今日の日本に暮らす人々のライフスタイルや価値観のあり方等の歴史的形成過程を、社会学等の技法を用いて検証し、これから私たちはどのような社会を作り上げていくべきなのかを検討する。
5. ケーススタディとして、水俣の公害問題を、経済学、環境学、社会学、人文学からとりあげ、それぞれのアプローチの違いを学ぶ。
6. 全体のまとめ

### 評価方法

試験とレポートと出席によって評価します。

### 学内販売予定教科書

### その他の教科書・教材

### 参考文献

### 学生に望むこと・その他

### 履修要件